

富士市の高校生イベントで自衛隊をPR



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、2月10日（土）、ふじさんめッセ（富士市）で行われた「第2回富士のふし心産業教育交流フェア」に参加した。

地域の人材育成と活性化を目的としたこのイベントは吉原工業高校（富士市）が主催し、富士・富士宮両市の高校及び企業等が参加した。会場では建築・福祉・医療・調理・商業など幅広いジャンルに分かれ、各種の体験や展示などが行われた。

ステージでは高校で学んだ研究発表等が行われるとともに、自衛隊から陸上自衛隊富士学校音楽隊（駿東郡小山町）が特別出演し、主催する高校生たちの自立と成長を激励するべく、若者に人気の曲などを演奏。観客席のみならず、ブースで展示等を行っていた高校生たちも思わず聴き入るほどの、自衛隊らしい熱い演奏を披露した。

静岡地本は、自衛隊ブースにおいて自衛官の募集制度説明及びパンフレット配布、子供向けの缶バッジ作製・プレゼントなどを行い、ブースに立ち寄った高校生は、自衛隊という職業の説明に耳を傾け積極的に質問をしていた。

静岡地本は、今後も地域の若者が主催するイベントに積極的に参加し、若者と交流することで自衛隊という職業の魅力や重要性を伝え、志望者の獲得に繋げていく。

希望に満ちた富士市入隊・入校予定者激励会を開催



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、2月16日（金）、富士市役所において行われた「平成29年度入隊・入校予定者激励会」に協力した。

これは県内の各市町が主催し、自衛隊や自衛隊の学校に入隊・入校予定の若者の新たな門出を祝う目的で実施されている。会場には富士市長をはじめ、富士市自衛隊家族会、富士市自衛隊協力会、自衛隊募集相談員、そして入隊・入校予定者10人の家族などが駆け付け、緊張感がありながらも希望に満ち溢れた雰囲気での激励会が実施された。

祝辞では、富士市長、家族会会長、協力会会長から心温まる激励の言葉があり、静岡地本部長は「自衛隊を取り巻く安全保障環境が激変する中、この職業を選択してくれてありがとう」と国防の任を志す後輩たちへ感謝と敬意を表した。

多くの激励の言葉を受け、入隊・入隊予定者を代表して、防衛大学校に入隊する鈴木敢統君が「富士市出身隊員として、立派に成長することを誓います」と力強く決意を述べた。鈴木君は1月にグランシップ（静岡市）で行われた県の激励会においても代表挨拶を務めており、自衛隊人生の始まりを更に意識した様子の決意表明であった。静岡地本は、入隊・入隊予定者のサポートを引き続き継続し、今後の成長と活躍を期待しつつ、自衛隊の仲間として近い将来共に仕事ができる日を楽しみに業務に邁進していく。